

厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)
「新型コロナ感染症拡大収束後の食品等事業者の新たな営業形態にも対応した
食品防御の推進のための研究」
分担研究報告書（令和6年度）

(海外における食品防御政策、規格等の動向調査)

研究代表者 今村 知明（公立大学法人奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授）

研究要旨

本調査は、海外における食品防御政策および規格の最新動向を把握し、日本のフードディフェンス対策の基礎資料とすることを目的とした。米国 FSMA 法に関しては、「特定の食品に対する追加的なトレーサビリティ記録要件」について調査を行った。この規則は高リスク食品の迅速な追跡を目的とし、食品の供給チェーン全体における記録保持を義務付けるものである。

コーデックス委員会では、「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」が CCFICS27 で審議され、ステップ 5 へ進み、CAC47 で正式に採択された。本ガイドラインでは、知的財産(IP)および地理的表示(GI)が適用範囲外とされた一方、食品を生産する動物の飼料(feed)の適用可否については今後も議論が継続される。また、英国 BSI による PAS96 の改訂作業は、契約手続きの遅延により進捗が停滞しており、今年度の大きな進展は認められなかった。

A. 研究目的

令和6年度における海外での食品防御政策に関する最新情報の把握を通じて、我が国におけるフードディフェンス対策の検討を行っていくうえでの基礎的資料とすることを目的とする。

B. 研究方法

米国 FDA (Food and Drug Administration) が施工・管理する FSMA 法¹に関する更新事項のうちフードディフェンスに関する事項についての更新状況、およびコーデックス委員会 (Codex Alimentarius Commission) 総会および CCFICS (食品輸出入検査・認証制度部会) におけるフードディフェンスに関する検討議題

とその進捗状況について整理した。

また、英国 BSI を中心に進められている PAS96 の新版(第5版)改訂作業について、開発担当者から聞き取り調査を行い進捗状況について整理した。

(倫理面への配慮)

本研究において、特定の研究対象者は存在せず、倫理面への配慮は不要である。

¹ (1)FDA, FSMA Rules, 2024.2.5

fsma

<https://www.fda.gov/food/guidance-regulation-food-and-dietary-supplements/food-safety-modernization-act/>

最終閲覧日 2025年3月3日¹

C. 研究結果

1. FSMA 法に関連する国外 Food Defense に係る事項の更新状況

2023 年 3 月に公表された新たなガイダンス 「Guidance for Industry: Current Good Manufacturing Practice and Preventive Controls, Foreign Supplier Verification Programs, International Adulteration, and Produce Safety Regulations: Enforcement Policy Regarding Certain Provisions MARCH 2022 / (現行の適正製造基準及び予防的管理、外国供給者確認プログラム、意図的不純物混入、及び農産物安全規制。特定の条項に関する施行方針 産業界向けガイダンス 2022 年 3 月)」²、およびその他の規則について令和 6 年度において大きな変更はなく遵守日の記載にも変更はなかった。

2022 年 11 月に公表された「特定の食品に対する追加的なトレーサビリティ記録要件に関する最終規則（食品安全強化法（FSMA）第 204 条に基づく規則）」³についても内容の更新はないものの当初 2023 年 1 月 20 日に発効し、今後 2026 年 1 月 20 日より施行、遵守される予定であったが遵守期限が 30 か月延期され 2028 年 7 月 20 日に変更されたため、本稿にて取り上げた。この最終規則は、特定の高リスク食品に対して追加的なトレーサビリティ記録の保持を求めるものであり、食品安全強化法（FSMA）の第 204 条に基づき、食品

の供給チェーン全体での迅速なトレーサビリティを確保し、食中毒などの食品安全問題のリスクを軽減することを目的としている。このことは同時に意図的な攻撃に対するリスクも軽減し結果的にフードディフェンスの強化にも寄与することになる。

この規則では、食品の移動や加工が行われる際に、それぞれの段階で詳細な情報を記録しなければならない。具体的には、食品がどこで受領され、どこへ出荷されたのか、どのような加工が行われたのか、どのロットに該当するのかといったデータを保存することが求められる。これらのデータは、FDA の要請があった場合には 24 時間以内に提出する義務があるため、食品関連事業者はリアルタイムでデータを管理できる体制を整える必要がある。特に、食品の加工や梱包の際には、元の形態からどのように変化したのか、また、それがどの製品に使用されたのかを正確に記録し、追跡可能な状態にしておくことが求められる。対象となる食品は、「食品トレーサビリティリスト（FTL）」に基づき選定されており、生鮮の果実や野菜、魚介類、乳製品、ナッツバターなど、過去に食中毒の発生頻度が高かった食品が含まれる。これらの食品は、特に病原菌による汚染のリスクが高く、迅速な追跡が求められるため、より厳格な記録保持の対象となる。また、この規則の適用範囲は食品の製造や販売に関わるすべての事業者に及び、

² Guidance for Industry: Current Good Manufacturing Practice and Preventive Controls, Foreign Supplier Verification Programs, International Adulteration, and Produce Safety Regulations: Enforcement Policy Regarding Certain Provisions MARCH 2022

<https://www.fda.gov/media/156729/download?attachment>

最終確認日 2025 年 3 月 9 日

³ FSMA Final Rule on Requirements for Additional Traceability Records for Certain Foods

<https://www.fda.gov/media/168142/download>

最終確認日 2025 年 3 月 7 日

食品の供給に携わる企業は新たなトレーサビリティ要件を満たすためのシステムを整備しなければならない。ただし、小規模な農業従事者や特定の小規模事業者には一部の免除措置が適用されるため、全ての事業者が同じ条件で適用を受けるわけではない。

当初この規則は、前述の通り 2023 年 1 月 20 日に発効し、今後 2026 年 1 月 20 日より施行、遵守される予定であった。しかし、遵守期限までにはサプライチェーン全体でのデータ共有や記録保持の調整が困難であるとスケジュールに懸念の声が事業者より上がったため、FDA は遵守期限を 30 か月延長し 2028 年 7 月 20 日とすることを 2025 年 3 月 20 日に発表した。今後、連邦官報 (Federal Register) に提案規則を掲載するなどの適切な手続きを通じて、正式な延長を行う予定である⁴。事業者は、この期間内に必要なシステムを整備し、新しいトレーサビリティ要件に適合するための体制を構築することが求められる。特に、食品の流通に関わる企業は、取引先との間でデータの連携をスムーズに行えるような仕組みを整えることが不可欠となる。この規則の導入により、食品の追跡がより正確に行われ、万が一の食中毒発生時には迅速な対応が可能となることで、消費者の安全がより一層確保されることが期待される。

2. コーデックス委員会食品偽装の防止と管理に

⁴ FDA Intends to Extend Compliance Date for Food Traceability Rule

https://www.fda.gov/food/hfp-constituent-updates/fda-intends-extend-compliance-date-food-traceability-rule?utm_source=chatgpt.com

最終確認日 2025 年 5 月 7 日

⁵ CCFICS27 meeting-report

<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh->

関するガイダンスの開発の進捗状況

コーデックス委員会における「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」の策定は、食品の安全性と消費者保護を強化するための重要な取り組みとして進められてきている。これまでの経過として、第 44 回 コーデックス総会 (CAC44) にて食品偽装の定義やリスク評価、監督当局および食品事業者の役割を整理し、ガイドライン草案を作成することが合意され、2021 年 5 月に開催された第 26 回食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS26) において、食品偽装の防止及び管理に関するガイドラインの草案が審議された。CCFICS26 で提出された全ての議論とコメントを考慮し、ガイドラインの改訂案を作成し、第 27 回食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS27)⁵で検討することが決定していた。

今年度の進捗として、(参考資料 1)⁶に示したように 2024 年 9 月 16 日から 20 日にかけてオーストラリアのケアンズにて開催された CCFICS27、そして 2024 年 11 月 25 日から 30 日にかけてスイスジュネーブで開催された第 47 回コーデックス総会 (CAC47) で本ガイドラインについての審議が実施された。

CCFICS27 では、本ガイドラインについての審議が行われ、ガイドラインの適用範囲や食品偽装の定義、リスク評価の枠組み、各国間の情報共有の

proxy/en/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fwork-space.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-27%252FFinal%252520report%252FREP24_FICSe.pdf

最終確認日 2025 年 3 月 9 日

⁶海外における食品防御政策、規格等の動向調査結果(参考資料 1)作成日 ; 2015 年 3 月 14 日

在り方が主要な論点となった。審議の結果、本ガイドラインはステップ5へ進めることが決定され、CAC47へ送付された。さらに、未解決の課題については電子的作業部会(EWG)が継続して議論を行うこととなった。

本会合では、ガイドラインの適用範囲についても詳細な検討が行われた。その結果、知的財産(IP)に関連する問題はガイドラインの対象から除外され、地理的表示(GI)は知的財産の一部であるため適用範囲外とすることが決定された。一方で、食品を生産する動物の飼料(feed)をガイドラインに含めるかどうかについては、さらなる検討が必要とされ、今後のEWGで検討を継続することとなった。食品偽装の定義についても議論が交わされ、「食品真正性(food authenticity)」、「食品清廉性(food integrity)」の定義を維持すべきかについて加盟国の意見が分かれた。カナダはこれらの定義を削除すべきと提案し、米国が支持したのに対し、EUは定義を維持するべきであると主張した。その結果、これらの定義は括弧書きの形でガイドライン内に残され、今後の電子的作業部会で引き続き検討されることが決定された。また、食品偽装の種類についても審議が行われ、添加(Addition)、代替(Substitution)、希釀(Dilution)、偽造(Counterfeiting)、誤表示(Misrepresentation)の5つのカテゴリーが確認された。代替の定義については、「通常はより低価値のもの(most often of lower value)」という表現が追加されることとなったが、すべてのケースでこの定義が適用されるわけではないため、最終的な表現については更なる検討が必要とされた。

さらに、食品偽装の防止と管理に関するガイドラインの原則についても調整が行われ、原則を簡潔にするための見直しが行われた。その結果、「食

品偽装はリスクに応じた適切な対策によって減少できる」ことが確認された。

食品偽装に関する情報共有の重要性についても議論が交わされ、国際的な枠組みの整備が求められた。複数の国が、食品偽装に関する情報共有の強化を提案し、迅速な情報交換が必要であるとの認識が共有された。一方で、各国の法制度が異なるため、情報共有の実施方法については引き続き検討が求められた。これらの議論を受け、Codex委員会は食品偽装情報の国際共有に向けた枠組みを検討することを決定した。

今回の会合では、EWGを継続し、食品真正性の定義や知的財産の扱い、飼料の取り扱いについて引き続き議論することが合意された。EWGの議長国は米国が務め、中国、EU、イラン、パナマ、英國が共同議長を務めることが決定された。また、作業言語としては英語およびスペイン語が使用されることとなった。

今後、ステップ5での承認後にさらなるコメントや修正作業が行われ、次回のCCFICS28にて追加の議論が行われる予定である。特に、食品真正性の定義、知的財産の扱い、飼料の適用範囲の明確化が引き続き議論される見込みである。

本ガイドラインの策定は、食品偽装のリスク管理と国際貿易の透明性向上を目的としており、今後の議論を通じてより具体的な内容が確定されることが期待されている。未解決の課題については、EWGを通じて引き続き精査され、食品安全の向上および消費者保護のための国際基準として確立されることが求められる。この議論を通じ、知的財産の適用範囲に関する懸念は依然として存在しており、今後のEWGで更なる検討が求められることが確認された。

CAC47⁷においても本ガイドラインについての審議が実施され、本ガイドラインがステップ5で採択された。

本会合では、一部の加盟国が本ガイドラインの進展に懸念を示し、特に未決定の文言が残されていることが指摘された。これに対し、CCFICS議長は、CCFICS27における進展を強調し、知的財産(IP)に関する議論が一定の合意に達したが、依然として未解決の論点があり、今後のEWGでの更なる検討が必要であることを確認した。また、食用家畜の飼料(feed)の適用方法についてもEWGでの検討が求められることが確認された。また、本会合では、知的財産(IP)の取り扱いが議題となり、地理的表示(GI)が知的財産の一部であることが確認された。また、EUはGIに関する懸念を示した。CCFICSが知的財産(GIを含む)をガイドラインの範囲から除外することで合意が成立したことが確認されたが、GIに関する問題が各国の法制度に基づいて議論の対象となる可能性があることを指摘する加盟国もあった。この議論を通じ、知的財産の適用範囲に関する懸念は依然として存在しており、今後のEWGでさらなる検討が求められることが確認された。

上述の通り、コーデックスにおける「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」は、2024年11月のCAC47にてステップ5(予備採択)に到達した。これに先立ち、CCFICS27では、定義・原則・適用範囲など多岐にわたる論点について幅広い議論が行われたが、GIやIP、飼料の扱いなど一部の課題は未解決のままとなり、これらは新たに設

置された電子的作業部会(EWG)にて継続審議されることとなった。今後は、回状文書による意見募集(ステップ6)を経て、2026年10月開催予定のCCFICS28にて再度審議(ステップ7)され、さらに今後開催予定のCACで最終採択(ステップ8)されることが見込まれる。CCFICSやEWGでの議論の進捗によっては、遅延の可能性もあることに留意が必要である。

3. PAS96新版(第5版)改訂の進捗状況

今回のPAS96の改訂は、食品への脅威に関する新たなリスクに対応するために行われている。主な目的は、サイバー攻撃の増加に対する英国政府の最新ガイダンスを反映し、コロナ禍以降の社会変化や国際的な食品取引の変動に対応することにある。また、気候変動が食品やその供給に与える影響を考慮し、脱炭素化や食品ロス削減などの政策による食品業界の変化を見据えることも含まれている。

改訂作業は、2023年11月に正式に開始され、テクニカルオーサー(Technical Author)が初稿を作成し、運営グループ(Steering Group)に共有された。その後、2024年4月から5月にかけて運営グループとの会議が行われ、初稿に対するコメントが議論された。当初の予定では、これらのコメントを反映させた修正案を作成し、パブリックコンサルテーション(公開協議)の段階に進む予定であった。しかし、プロジェクトスポンサー(Project Sponsor)からの追加作業の要請により、テクニカルオーサーとの新たな契約が必要となり、この契約の締結が長引いていることが原因

⁷ Report of CAC 47

<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/en/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fwork-space.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-701->

47%252FFFINAL%252520REPORT%252FREP24_CACe.pdf

最終確認日 2025年3月9日

で、改訂作業が停滞している。

現在、契約が完了するまでテクニカルオーサーは改訂作業を進めることができず、そのためパブリックコンサルテーションの実施時期も未定となっている。契約が完了し次第、テクニカルオーサーが追加作業を行い、修正された草案が作成される予定である。その後、運営グループでの再検討を経て、最終的にパブリックコンサルテーションに向けた準備が進められることとなる。BSI（英國規格協会）からは、新たなスケジュールが確定次第、関係者に通知される見込みである。⁸⁾

D. 考察

1. FSMA 法に関連する国外 Food Defense に係る事項の更新状況

FSMA（食品安全強化法）の第 204 条に基づくトレーサビリティ規則の施行は、食品安全とフードディフェンスの両面から重要な意義を持つ。この規則は、高リスク食品のトレーサビリティを強化することを目的としており、供給チェーン全体での迅速な情報共有と記録保持を求めている。食品安全の観点からは、食中毒の発生時に感染源を特定し、迅速に対応することが可能となるが、フードディフェンスの視点からも、意図的な汚染や偽装行為を防ぐ抑止力として機能する点が注目される。今後日本でもこのようなデジタル技術を活用したリアルタイムなトレーサビリティの導入や、食品流通の各段階での記録保持に関する明確な法的要件を含むトレーサビリティ基準の策定が求められる。

2. コーデックス委員会食品偽装の防止と管理に関するガイダンスの開発の進捗状況

コーデックス委員会の「食品偽装の防止及び管

理に関するガイドライン」は、食品の安全確保と消費者保護の観点から重要である。適用範囲については、知的財産（IP）および地理的表示（GI）が対象外となった一方で、食品を生産する動物の飼料（feed）の適用については引き続き議論が必要とされている。

食品偽装の定義では、「食品真正性（food authenticity）」および「食品清廉性（food integrity）」の扱いが加盟国間で意見が分かれ、今後の調整が求められる。また、食品偽装の分類では、「代替（Substitution）」の定義拡張が進められたが、全てのケースに適用できる表現かどうかについては引き続き検討が必要とされた。

さらに、情報共有に関する国際的枠組みの確立が課題として浮上し、各国の法制度の違いが障壁となっている。迅速な情報交換の仕組みを整備することが、食品偽装の早期発見および対応に不可欠である。

今後、食品真正性の定義の確立、飼料の適用範囲の明確化、食品偽装の分類の統一、情報共有の実効性向上が求められ、引き続き EWG での議論が必要となる。

3. PAS96 新版（第 5 版）改訂の進捗状況

PAS96（第 5 版）の改訂作業は、契約手続きの遅延により停滞しており、パブリックコンサルテーションの実施時期も未定となっている。この状況は、フードディフェンスの最新基準の更新に影響を与え、関係者間でのリスク管理の整備が遅れる可能性がある。今後、契約の締結が完了次第、追加作業が進められ、修正案が作成される予定であるが、スケジュールのさらなる遅延も懸念される。改訂プロセスの迅速化を図るために、運営グループとプロジェクトスポンサー間の調整強化が

⁸⁾ 英国 BSIPAS96 開発担当者からのメール（参考資料 2）

求められる。BSI からの新たなスケジュール発表が、関係者にとって今後の見通しを明確にする重要なポイントとなる。

今後の対応として、契約締結の進捗を注視し、関係者間の情報共有を強化するとともに、改訂作業の進展に向けた適切なリソースの確保が求められる。

E. 結論

本調査を通じ、米国 FSMA 法、コーデックス委員会のガイドライン策定、英国 PAS96 の改訂について最新動向を確認した。FSMA 法では、フードディフェンスに関わる新たな規則の大きな更新はなかったが、2026 年施行予定のトレーサビリティ要件がフードディフェンスにも寄与する可能性が示唆された。コーデックス委員会では、食品偽装対策に関するガイドラインの策定が進み、国際的な基準整備が進展していることが確認された。一方、PAS96 の改訂は停滞しており、今後の進展を注視する必要がある。

今後の対応として、各国のフードディフェンス関連規則の変更を継続的に追跡し、日本の食品防御政策への適用可能性を検討することが求められる。また、食品偽装防止やトレーサビリティの強化がフードディフェンスに与える影響を評価し、リスク管理のさらなる向上に向けた取り組みを進めることが重要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし



海外における食品防衛政策、規格等の動向調査結果

BSIグループジャパン株式会社

2025年3月14日



FSMA法関連動向、新業態に関する国外Food Defenseに係る論点整理



更新状況等 (2025年1月)

規則

- 更新: 無し (遵守日記載も変化なし)。
- FSMAに関する更新事項として、特定の食品に対する追加的なトレーサビリティ記録要件に関する最終規則が策定された。この最終規則は、2023年1月20日に発効し、2026年1月20日から施行される予定。

ガイド

- 更新: 無し 食品防衛 (Food Defense) に関する直接的な変更・更新はこの一年間では確認されず。

【昨年までの記載事項】

- 2022年3月に新たなガイド、『Guidance for Industry: Current Good Manufacturing Practice and Preventive Controls, Foreign Supplier Verification Programs, Intentional Adulteration, and Produce Safety: Revisions to Enforcement Policy Regarding Certain Provisions』 (現行の適正製造基準及び予防的管理、外国供給者確認プログラム、意図的不純物混入、及び農産物安全規制。特定の条項に関する施行方針 産業界向けガイド 2022年3月) 」が公表された。
- 事業規模によって段階的に設定されていた規則の遵守日が、2021年7月26日に最後に残っていた零細企業の遵守日を迎えたことにより、すべての規模の事業主体が遵守対象となる。
- 新しく発表されたガイドでは施行裁量に関する方針が示された。



IA規則



※2022年3月公表されたガイド
• Guidance for Industry: Current Good Manufacturing Practice and Preventive Controls, Foreign Supplier Verification Programs, Intentional Adulteration, and Produce Safety: Revisions to Enforcement Policy Regarding Certain Provisions
• Supplemental Draft Guidance for Industry: Mitigation Strategies to Protect Food Against Intentional Adulteration ※このガイドは「IA規則遵守日」についての記載がある
• Draft Guidance for Industry: Mitigation Strategies to Protect Food Against Intentional Adulteration
• Guidance for Industry: Mitigation Strategies to Protect Food Against Intentional Adulteration - What You Need to Know About the FDA's Revisions to Certain Provisions of the FSMA

Guidance for Industry: Current Good Manufacturing Practice and Preventive Controls, Foreign Supplier Verification Programs, Intentional Adulteration, and Produce Safety Regulations: Enforcement Policy Regarding Certain Provisions MARCH 2022

※IA規則の関連ガイドについての記載
↑ ※ガイドに記載されている遵守日はこれまでと変化なし。

2021年7月26日の零細企業の遵守日をもって、すべての規模の事業主体が遵守日を迎えた。

Table 2. Compliance Dates for IA Rule Based on Size of Business

Size of Business	Compliance Date
Very Small	July 26, 2021
Small	July 27, 2020
Other businesses that do not qualify for exemptions	July 26, 2019

<https://www.fda.gov/food/food-safety-modernization-act-fsma/fsma-final-rule-mitigation-strategies-protect-food-against-intentional-adulteration>
<https://www.fda.gov/regulatory-information/search-fda-guidance-documents/draft-guidance-industry-mitigation-strategies-protect-food-against-intentional-adulteration>
<https://www.fda.gov/regulatory-information/search-fda-guidance-documents/guidance-industry-current-good-manufacturing-practice-and-preventive-controls-foreign-supplier>

© 2025 BSI. All rights reserved.

3

特定の食品に対する追加的なトレーサビリティ記録要件に関する最終規則

最終規則は2023年1月20日に発効し、2026年1月20日から施行される予定です。この情報は、FDAの公式ウェブサイトで確認できます。

最終規則の概要

この最終規則は、食品トレーサビリティリスト (FTL) に掲載された特定の食品を製造、加工、包装、または保管する事業者に対し、追加的なトレーサビリティ記録の保持を求めるものです。これにより、食中毒の発生時などにおいて、汚染された可能性のある食品を迅速に特定し、市場から速やかに除去することが可能となり、食源性疾患の発生や死亡を減少させることが期待されています。

主な要件

- **食品トレーサビリティリスト (FTL)** : FTLには、追加的なトレーサビリティ記録が必要とされる食品が一覧化されています。具体的な食品のリストは、FDAの公式サイトで公開されています。
- **重要追跡イベント (CTEs) と主要データ要素 (KDEs)** : 事業者は、FTLに掲載された食品に関する特定のCTEs (例: 収穫、冷却、初回包装、輸送、受領、変換) に対して、対応するKDEs (例: 追跡ロットコード、出荷日、受領者情報) を記録し、保存する必要があります。
- **追跡ロットコードの割り当て** : 事業者は、FTLに掲載された食品に対して一意の追跡ロットコードを割り当て、サプライチェーン全体でこのコードを使用して食品の追跡を行います。
- **トレーサビリティ計画** : 事業者は、自社のトレーサビリティ計画を策定し、記録の保存方法、担当者、手順などを明確にする必要があります。

施行スケジュール

すべての対象事業者は、2026年1月20日までにこの最終規則の要件を遵守する必要があります。これは、サプライチェーン全体で一貫したトレーサビリティ情報の共有を確保するためです。

https://www.fda.gov/food/food-safety-modernization-act-fsma/fsma-final-rule-requirements-additional-traceability-records-certain-foods?utm_source=chatgpt.com

<https://www.fda.gov/media/171414/download>

© 2025 BSI. All rights reserved.

4

QAページでのIA規則関連情報（1/2） (2025年1月)

- 「意図的な偽和規則の遵守日はいつですか？」
 - この規則は、米国で消費する食品を製造/加工、梱包、または保管する国内または外国の食品施設を担当する所有者、運営者、または代理人に適用され、免除の対象とならない限り、連邦食品医薬品化粧品法(21 USC 350d)のセクション415に基づいて登録する必要があります。IAルールのコンプライアンス日は、ビジネスの規模によってずらされます。
 - ◆ Very small (これまでまとめた報告書中の記「零細企業」) : 2021年7月26日
 - ◆ Small (同じく、「小規模企業」) : 2020年7月27日
 - ◆ All others (同じく、「小規模企業または零細企業でない企業で、免除対象とならない企業」) その他すべて: 2019年7月26日
- 「FD.9 “A Very small Business”の定義は何ですか?私がそれに該当する場合、私は何をしなければなりませんか、そしていつ従わなければなりませんか?」
 - “A Very small Business”は、該当する暦年の前の3年間に、人間の食品の売上高に、製造、加工、梱包、または販売なしで保持されている(たとえば、有料で保持されている)人間の食品の市場価値を加えた、インフレ調整後の年間平均10,000,000ドル未満の企業(子会社および関連会社を含む)です。非常に中小企業は規則の全要件から免除されますが、2021年7月26日以降、要求に応じて、会社が“A Very small Business”であることを示すのに十分な公式レビュー文書を提供する必要があります。
 - IA規則の対象とならない、または免除される可能性のある施設の証明フォームはありません。
 - あなたが“A Very small Business”であるかどうかを計算する方法の詳細については、IAドラフトガイダンスの付録3「パート121に基づく非常に中小企業または中小企業としてのステータスの決定:意図的な偽和から食品を保護するための緩和戦略」を参照してください。

(参照)<https://www.fda.gov/food/food-safety-modernization-act-fsma/frequently-asked-questions-fsma> FDAホームページの「FSMAによる質問と回答」より

※FDA Website構成変更によりURLが昨年より変更



© 2025 BSI. All rights reserved.

5

QAページでのIA規則関連情報（2/2） (2025年1月)

- 「第117.5条(b)(シーフード)、第117.5条(c)(ジュース)、第117.5条(d)(LACF)、第117.5条(e)(栄養補助食品)に基づく人間の食品予防管理規則の要件から免除された場合、IA規則も免除されますか?食品防御計画を立てる必要がありますか?」
 - IA規則には、シーフード、ジュース、LACF、または栄養補助食品の免除は含まれていません。IA規則は、米国で消費する食品を製造/加工、梱包、または保持する国内または外国の食品施設を担当する所有者、運営者、または代理人に適用され、免除の対象とならない限り、連邦食品医薬品化粧品法のセクション415に基づいて登録する必要があります(21 CFR 121.5を参照)。この規則は、対象となる施設が書面による食品防御計画を準備するか、準備し、実施することを要求しています。
 - ◆ 重大な脆弱性と実行可能なプロセスステップを特定するための、必要な説明を含む脆弱性評価
 - ◆ 必要な説明を含む緩和戦略
 - ◆ 緩和戦略の実施に関する食品防御監視の手順
 - ◆ 食品防御是正措置の手順そして
 - ◆ 食品防御検証の手順(21 CFR 121.126を参照)

(参照)<https://www.fda.gov/food/food-safety-modernization-act-fsma/frequently-asked-questions-fsma> FDAホームページの「FSMAによる質問と回答」より

※FDA Website構成変更によりURLが昨年より変更



© 2025 BSI. All rights reserved.

6

2022年3月公表のガイダンスについて (2025年1月)

- 「Guidance for Industry: Current Good Manufacturing Practice and Preventive Controls, Foreign Supplier Verification Programs, Intentional Adulteration, and Produce Safety Regulations: Enforcement Policy Regarding Certain Provisions MARCH 2022 / (現行の適正製造基準及び予防的管理、外国供給者確認プログラム、意図的な不純物混入、及び農産物安全規制：特定の条項に関する施行方針 産業界向けガイダンス 2022年3月)」
- 米国食品医薬品局（FDA）は、FDA食品安全近代化法（FSMA）を実施する5つの規則のうち、特定の条項を施行しない意向を示すガイダンスを公表しました。5つの規則の対象となる特定の事業体および/または活動に対して特定の規制要件を強制しないことを明らかにしています。
- 公表された施行裁量方針は、以下の5規則に関するものです。
 - ✓ 人間の食品の現在の適正製造慣行とハザード分析とリスクベースの予防管理
 - ✓ 動物性食品の現在の適正製造基準とハザード分析とリスクベースの予防管理
 - ✓ 人間と動物のための食品の輸入者のための外国サプライヤー検証プログラム(FSVP)
 - ✓ 人間の消費するための農産物の栽培、収穫、梱包、および保持に関する基準(PSR)
 - ✓ 意図的な異物混入から食品を保護するための緩和戦略(IA)
- IA規則に関する施行裁量方針（セクションIII.Bに記載）
- 特定の事業体に対する執行方針：2018年1月のFSMAガイダンスで、FDAは、特定の農場関連活動を行っているが、「農場」の定義の下では農場とは見なされない特定の施設に対して、執行裁量ポリシーを確立しました。この新しいガイダンスでは、FDAはIA規則に関する執行措置を同じ施設や活動に適用するつもりはないことを明確にしています。（しかしながら、FDAは「農場」の定義を変更する可能性のある規則作成を発行しているので、これらは今後IAの規定がこれらの事業体に適用されるかどうかに影響します。）
- 特定の状況におけるIA規則の執行方針：特定の状況（たとえば、是正措置手順の実装によって対処される单一の障害がある場合など）で再分析の要件を強制しないとした。
 - ✓ IA規則は、緩和戦略、戦略の組み合わせ、またはFDP全体が適切に実施されていない場合など、特定の状況において、食糧防衛計画(FDP)の再分析を要求しています。
 - ✓ IA規則はまた、対象となる事業体が、緩和戦略が適切に実施されていない場合に取らなければならない食品防御は是正措置手順を確立し、実施することを要求しています。重複を減らすために、FDAは、欠陥を修正し、欠陥が再び発生する可能性を減らす行動を通じて緩和戦略の不適切な実施が対処された場合には、再分析の要件については裁量をもって判断するとしています。



© 2025 BSI. All rights reserved.

7

(参考) FDA食品防御ガイドラインとFSMAとの関係

- FDA食品防御ガイドラインは、Bioterrorism Act(2002)を踏まえ、非拘束的な食品テロ予防措置として作成(*1)
 - 現在も2007.10ver.を最新版として公開(*2)
- FSMA(2011)は、食品安全・防御強化の一環として食品防御対策を検討・策定
 - Bioterrorism Actの関係規則・施策の一部を充実・強化
 - 追加的な規則・施策を作成・運用⇒今回の規則案など



*1: Food Engineering "The Bioterrorism Act: Essential Facts", 2004.9.2 (<https://www.foodengineeringmag.com/articles/82392-the-bioterrorism-act-essential-facts>)

*2: Guidance for Industry: Food Producers, Processors, and Transporters: Food Security Preventive Measures Guidance, 2007.10 (<https://www.fda.gov/regulatory-information/search-fda-#> <https://www.fda.gov/regulatory-information/search-fda-guidance-documents/guidance-industry-food-security-preventive-measures-guidance-food-producers-processors-and>)

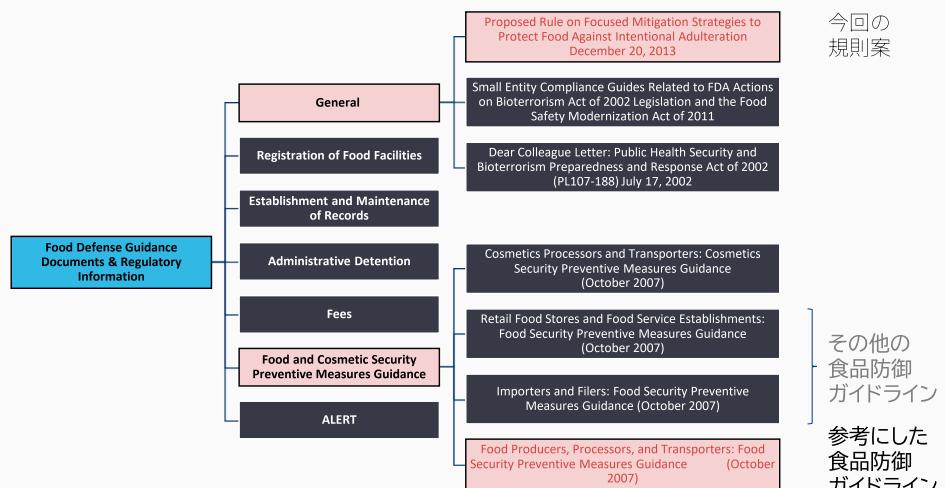


© 2025 BSI. All rights reserved.

8

(参考) 食品防御における規則案とガイドラインの位置づけ

- 両者とも、FDAの「食品防御ガイダンス資料・規則情報」のページに掲載 (*)



- <http://www.fda.gov/Food/GuidanceRegulation/GuidanceDocumentsRegulatoryInformation/FoodDefense/default.htm>
- ※FDA Website構成変更によりURLが昨年より変更
© 2025 BSI. All rights reserved.

9

CCFICS New Work on the development of Guidance on the prevention and control of food fraudについての調査
(2025年1月までの進捗)



2023年以降の見通し

- 食品偽装に関するガイダンスの完成目標 → 2024年または2025年・・・Codex委員会
➤2025年の完成までに開発中の複数の草案が出される見込み
 - 電子作業部会（議長国：米国、共同議長国：中国、EU、イラン、および英国）が設置され、次回のCCFICS26部会（2023年5月開催予定）での議論に向け食品偽装に関するガイダンス草案を検討中
➤電子作業部会キックオフ時の計画書によると、次回のCCFICS26部会（2023年5月開催予定）の3か月前の2023年2月頃に草案が出る見込みことが予想される。
➤それに伴い、電子作業部会の会合が開催される可能性がある。（EWGは、未解決の問題に対処するためにCCFICS26の前に会合することができ、CCFICS26の3か月前にEWGの報告書を提出し、他の関連するコーデックス委員会に新しい作業の進捗状況を通知し続ける。）



© 2025 BSI. All rights reserved.

11

2025年1月時点

- ## ・近年の「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」関連の主な動向 (2025年1月確認状況)

- 第26回食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS26)
2023年5月1日～5日開催 @オーストラリア ホバート
CCFICS26th session (2023May1-5)
 - 第107回コーデックス連絡協議会
2023年9月8日開催 @東京AP虎ノ門 (ハイブリッド開催)
(CCFICS26について確認・議論)
第107回コーデックス連絡協議会:農林水産省 (maff.go.jp)
第107回コーデックス連絡協議会の概要について (caa.go.jp)
 - 第46回 コーデックス総会 (CAC46)
2023年1月2日～1月2日開催 @イタリア ローマ&Web
CAC46 | CODEXALIMENTARIUS FAO-WHO
meeting-detail | CODEXALIMENTARIUS FAO-WHO
 - 第27回食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS27)
2024/9/16～20開催 @オーストラリア ケアンズ
https://gfors5.org/wp-content/uploads/2024/10/EN_CCFICS27_GFaRS5_v1.pdf?utm_source=...

CCFICS電子作業部会
(EWG)による

「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」草案作成作業

- CCFICS電子作業部会の作業計画（タイムテーブル）
 - 2023年10月 EWGへの初回草案
 - 2023年11月 コメント提出期限
 - 2024年2月初旬 ドラフト2をEWGに提出
 - 2024年3月中旬 コメント提出期限
 - 2024年5月 会議用文書案をEWGに提出
 - 2024年6月 会議用文書提出
 - 2024年7月 CCFIWG-37

CCFICS27 での検討のため、CCFICS26 で提出された全ての議論とコメント（角括弧内の文章を含む）を考慮し、食品偽装の防止と規制に関する CCFICS26 総会の編集版を使用し、ステップ 2 ガイドラインの改訂草案を作成する。

Microsoft Word - FoodFraud_EWG_invitation_e_062023 (fao.org)
<https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/committees/ewg/detail/en/c/1644731/>



<https://www.fao.org/faohq-codexalimentarius/committees/committee/related-meetings/en/?committee=CCFICS>
<https://www.fao.org/faohq-codexalimentarius/committees/committee/related-meetings/en/?committee=CAC>

<https://www.fao.org/faostat/en/#/commodities/100>

© 2025 BSI. All rights reserved.

12

【参考】第26回食品輸出入検査・認証制度部会(CCFICS)の主な検討議題より

仮議題6 食品偽装の防止及び管理に関するガイダンス原案(ステップ4)

食品システムの複雑化と食品の世界的な貿易取引により、食品サプライチェーンは食品偽装に対して脆弱になっており、食品安全当局、関係機関及び食品事業者に対して食品偽装の探知、防止、緩和及び管理に関する実用的なガイダンスを提供する。

主な論点

- ・ガイダンス原案は①序論、②目的／範囲、③定義、④食品偽装の種類、⑤原則、⑥役割と責務、⑦当局による関連活動、⑧当局間の協力及び情報共有の構成となっており、⑤～⑦のセクションは、作業部会では概ねコンセンサスが得られている。
- ・目的／範囲に知的財産及び危害を加えること目的とした食品への意図的混入に関する記載を含めるか。
- ・定義及び食品偽装の種類に含めるべきは何か。

対処方針

- ・食品偽装が関連する分野は広いことから、本部会の所掌範囲である消費者の健康保護及び食品貿易の公正な取引の保証のために、必要な範囲を本ガイダンスの対象とすべきとの立場で対処したい。

13

第105回コードエックス連絡協議会(2023年4月26日、資料1より) (<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/attach/pdf/105-4.pdf>)

© 2025 BSI. All rights reserved.

13

【参考】ガイドライン案の公表（未定稿）

CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION
Food and Agriculture Organization of the United Nations
Viale delle Terme di Caracalla, 00153 Rome, Italy - Tel: (+39) 66 57051 - E-mail: codex@fao.org - www.codexalimentarius.org

Agenda Item 6
CX/FICS 23/26/6

JOINT FAO/WHO FOOD STANDARDS PROGRAMME
CODEX COMMITTEE ON FOOD IMPORT AND EXPORT INSPECTION AND CERTIFICATION SYSTEMS
Twenty Sixth Session
PROPOSED DRAFT GUIDELINES ON THE PREVENTION AND CONTROL OF FOOD FRAUD
(Report prepared by the Electronic Working Group¹ chaired by the United States of America and co-chaired by China, European Union, Islamic Republic of Iran, and United Kingdom)
Step 3
INTRODUCTION & BACKGROUND

CX/FICS 23/26/6
APPENDIX I
PROPOSED DRAFT GUIDELINES ON THE PREVENTION AND CONTROL OF FOOD FRAUD
(Step 3)
Section 1: Preamble / Introduction

1. The increasing complexity of food systems and global trade in food makes food supply chains more vulnerable to food fraud. Protecting the global food supply from intentional actions that undermine protection of public health and upholding fair practices in food trade are common goals for all stakeholders.

2. Food fraud incidents can present risk to public health and can result in economic loss for consumers and other stakeholders, disruption in trade, reputational damage, and unfair economic advantages.

3. Government oversight and good manufacturing practices by food business operators (FBOs) are important to protect public health, to limit the opportunity for food fraud and to maintain consumer confidence in the safety, authenticity, integrity, suitability², and quality of food.

4. Food fraud can be prevented or minimized using the existing controls and mitigation measures available to countries through their National Food Control Systems (NFCs) or by adopting new measures, if necessary.

ガイドライン案の構成

Section 1: Preamble / Introduction

Section 2: Purpose / Scope

Section 3: Definitions

Section 4: Types of food fraud:

Section 5: Principles

Section 6: Roles and Responsibilities

Section 7: Relevant Activities for Competent Authorities

Section 8: [Cooperation] [Collaboration] and exchange of information between competent authorities

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/en/?link=1&url=https%253A%252F%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-26%252FWorking%2BDocuments%252Ffc26_06e.pdf

© 2025 BSI. All rights reserved.

14

鬼武先生からご紹介いただいた資料

CCFICS New Work on the development of Guidance on the prevention and control of food fraudについての調査
昨年度(R3年度)鬼武委員よりご紹介。今村委員より、調査の指示あり。

- CODEX ALIMENTARIUS 委員会 第25回
- https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/jp/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fworksp ace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%25 2FCX-733-25%252FFinal%252520Report%252FREP21_FICSe.pdf
- JOINT FAO/WHO FOOD STANDARDS PROGRAMME CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION
- Forty-fourth Session 8-13 November 2021 (CAC44)
- REPORT OF THE 25TH SESSION OF
- THE CODEX COMMITTEE ON FOOD IMPORT AND EXPORT INSPECTION AND CERTIFICATION SYSTEMS (CCFICS25)
- Virtual, 31 May – 8 June 2021



© 2025 BSI. All rights reserved.

15

【参考】第27回食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS27) の主な検討議題

第27回コーデックス食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS27) で検討された主な議題と、それぞれに関連する情報ソースは以下の通りです：

- (1) 食品偽装の防止と管理に関するガイドラインの策定
 - 食品偽装 (Food Fraud) の防止と管理に関する新たなガイドラインの策定が議論されました。
(参考) Tomorrow's Food and Feed
- (2) 輸出入食品の検査・認証システムにおけるデジタル技術の活用
 - 食品貿易におけるデジタル技術の導入に関する議論が行われました。
(参考) 食品規制科学協会
- (3) 食品安全のための緊急措置に関するガイドラインの更新
 - 食品安全問題への迅速な対応を確保するためのプロトコル改訂が検討されました。
(参考) 食品規制科学協会
- (4) コンプライアンスと透明性の確保
 - 輸出入食品検査制度におけるコンプライアンス基準と透明性向上のための提案が議論されました。
(参考) 食品規制科学協会
- (5) 政府間の協力と情報共有の強化
 - 食品の安全性と公正な貿易を確保するための各政府間での情報共有と協力体制の拡大が推進されました。
(参考) 食品規制科学協会
- (6) 食品の追跡可能性 (トレーサビリティ) に関する要件
 - 食品のトレーサビリティに関する新たな基準や要求事項の検討が行われました。
(参考) 食品規制科学協会



© 2025 BSI. All rights reserved.

16

2025年1月時点(1/2)

2025年1月現在、「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」の策定は、コーデックス委員会の下で引き続き進行中です。このガイドラインは、食品偽装の防止と管理を目的としており、消費者の健康保護と食品貿易の公正性を確保することを目指しています。

進捗状況(2025年1月時点):

- 第27回食品輸出入検査・認証制度部会(CCFIICS27)の開催:** 2024年9月にオーストラリアのケアンズで開催され、食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン原案がステップ4として検討されました。この会合では、電子的作業部会およびバーチャルワークショップを経て作成された討議文書を基にガイドラインの目的、範囲、定義、食品偽装の種類、原則、役割と責務、当局による関連活動、当局間の協力及び情報共有などが議論されました。
- ガイドラインの進捗:** CCFIICS27では、食品偽装の防止及び管理に関するガイドラインの草案が詳細に検討され、いくつかの修正提案が行われました。これらの提案は、ガイドラインの明確化と実効性の向上を目的としています。
- 第47回コーデックス委員会(CAC47):** 2024年11月に開催され、CCFIICS27での議論を踏まえ、ガイドライン原案がステップ5として採択されました。これにより、ガイドライン策定プロセスは次の段階へと進み、最終的な承認に向けた準備が進められています。
- 今後のステップ:** 電子作業部会(EWG)がステップ6でのコメントおよび未解決事項を検討し、必要に応じて会合を開催のうえ、2026年開催予定のCCFIICS28の3か月前までに報告書を提出することが合意されています。
- 主な重要ポイント:**
 - 目的と適用範囲:** ガイドラインは、食品偽装の防止、検出、緩和、および管理に関する指針を提供し、消費者の健康保護と食品貿易の公正性を確保することを目的としています。適用範囲は、食品および飼料の生産、輸送、輸出入、販売を含むサプライチェーン全体に及びます。
 - 食品偽装の定義と分類:** ガイドラインでは、食品偽装を以下のように分類しています。
 - 添加 (Addition): 未申告の物質を食品に加える行為。
 - 代替 (Substitution): 高価な成分を低価な別の成分で置き換える行為。
 - 虚偽表示 (Misrepresentation): 製品の内容や品質について誤解を招く表示を行う行為。
 - 隠蔽 (Concealment): 製品の欠陥や品質低下を隠す行為。

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1710359/?utm_source=chatgpt.com

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1710762/?utm_source=chatgpt.com

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/jp/?lnk=1&url=https%253A%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-27%252FFinal%252520report%252FREP24_FICSe.pdf&utm_source=chatgpt.com

© 2025 BSI. All rights reserved.

17

2025年1月時点(2/2)

3.予防的アプローチの推進: ガイドラインは、食品偽装を未然に防ぐため、リスク評価を重視しています。また、サプライチェーン全体にわたるモニタリング体制の強化を推奨しています。

4.政府と業界の役割:

- 政府機関: 食品偽装に関連する基準の策定、執行、監督を担います。
- 事業者: リスクに応じた対策を導入し、予防策を講じることが求められています。

国際的な取り組み:

欧州連合(EU)では、食品偽装防止のための取り組みが強化されています。例えば、2024年9月には、消費者が食品の原産地情報を明確に知ることができるよう、新たなラベル表示の導入が提案されました。この取り組みは、消費者の権利保護と食品偽装の撲滅を目的としています。

今後の展望:

本ガイドラインは、2024年のCAC47においてステップ5として採択されました。現在、未解決事項の整理や各国から提出された意見の検討が電子作業部会により進められており、その結果は2026年10月に開催予定のCCFIICS28に報告され、ステップ7として再審議される見通しです。今後は、同部会での検討結果を踏まえ、Codex委員会において最終採択(ステップ8)が行われる予定です。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/meeting_materials/assets/consumer_safety_cms203_240926_01.pdf?utm_source=chatgpt.com

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/committees/committee/related-meetings/en/committee=CCFIICS&utm_source=chatgpt.com

https://www.huffingtonpost.es/life/consumo/basta-comida-falsa-nueva-etiqueta-supermercado-acaba-10-alimentos-mas-falsificados.html?utm_source=chatgpt.com

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/jp/?lnk=1&url=https%253A%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-27%252FFinal%252520report%252FREP24_FICSe.pdf&utm_source=chatgpt.com

© 2025 BSI. All rights reserved.

18

2025年1月時点 第27回食品輸出入検査・認証制度部会 (CCFICS27) 公式報告書

CCFICS27では、食品偽装の防止及び管理に関するガイドラインの草案が詳細に検討され、(1)知的財産に関する記載の除外、(2)電子的作業部会の設置などの修正提案が行われました。

CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION
Food and Agriculture Organization of the United Nations
World Health Organization

Viale delle Terme di Caracalla, 00153 Rome, Italy - Tel. +39 06 57091 - E-mail: codex@fao.org - www.codexalimentarius.org

REP24/FICS

JOINT FAO/WHO FOOD STANDARDS PROGRAMME
CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

Forty-seventh Session
25 - 30 November 2024

REPORT OF THE 27TH SESSION OF
THE CODEX COMMITTEE ON FOOD IMPORT AND EXPORT INSPECTION AND CERTIFICATION SYSTEMS
Cairns, Australia, 16 - 20 September 2024

REP24/FICS					
SUMMARY AND STATUS OF WORK					
Responsible Party	Purpose	Text/Topic	Code	Step	Para(s)
CCEXEC87 CAC47	Approval	Draft Guidelines on prevention and control of food fraud	N06-2017	5	61 and App. II
		Project document on guidance on appeals mechanism in the context of rejection of imported food	1/2/3	86 and App. III	
		Project document on the standardization of the representation of sanitary requirements	1/2/3	91 and App. IV	
		Project document on establishment listings	1/2/3	100 and App. V	
EWGs CCFICS28 Member(s) Observers	Drafting, Discussion, and/or comments	Project document on digitalisation of national food control systems	1/2/3	103 and App. VI	
		Draft consolidated guidelines related to equivalence	2/3/4	35	
		Draft guidelines on Prevention and Control of food fraud	6/7	81	
		Draft Principles and guidelines on Traceability/Product Tracing as a tool within a Food Inspection and Certification System (CXG 2016)	2/3/4	79	
EU CCFICS28	Comments Drafting Discussion	Draft guidance on appeals mechanism in the context of rejection of imported food	2/3/4	86	
		Draft guidance on the standardization of sanitary requirements	2/3/4	91	
EU CCFICS28	Comments Drafting Discussion	Draft guidance on establishment listings	2/3/4	100	
		Draft principles on digitalisation of national food control systems	2/3/3	103	
EU CCFICS28	Comments Drafting Discussion	Review and update, Appendix A - the list of emerging global issues	Review and update, Appendix A - the list of emerging global issues	96	

(1)知的財産に関する記載の除外: ガイドラインの対象範囲から、地理的表示 (GI)などの知的財産に関する事項を除外することが合意されました。

(2)電子的作業部会の設置: ガイドライン原案の改訂を進めるため、電子的作業部会 (EWG) が設置されることが決定されました。この作業部会は、米国が議長国を務め、英国、中国、EU、イラン、パナマが共同議長国として参加します。

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/jp/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-27%252FFinal%252520report%252FREP24_FICSe.pdf&utm_source=chatgpt.com

© 2025 BSI. All rights reserved.

19

2025年1月時点 第47回コーデックス委員会報告書 CAC47 Report of CCFICS27

CCFICS27（第27回食品輸入・輸出検査認証システムに関するコーデックス委員会）で策定された食品防衛に関するガイドライン原案がステップ5としてCAC47（第47回コーデックス委員会）で採択されました。具体的には、食品不正の予防と管理に関するガイドラインがCCFICS27で大幅に進展し、CAC47での採択に向けて送付されました。

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1710762/?utm_source=chatgpt.com

CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION
Food and Agriculture Organization of the United Nations
World Health Organization

Viale delle Terme di Caracalla, 00153 Rome, Italy - Tel. +39 06 57091 - E-mail: codex@fao.org - www.codexalimentarius.org

Agenda Item 4.9

JOINT FAO/WHO FOOD STANDARDS PROGRAMME
CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION

Forty-seventh Session

WORK OF THE CODEX COMMITTEE ON FOOD IMPORT AND EXPORT INSPECTION AND CERTIFICATION SYSTEMS (CCFICS)

- The Commission is invited to adopt the draft guidelines submitted for adoption at Step 5 as listed in Part 1 of this document. If adopted, the draft guidelines will be advanced to Step 6 for further comments and consideration by CCFICS28.
- The comments received regarding the text from CCFICS27 submitted for adoption are contained in CX/CAC 24/47/11 Add.1.
- The Commission is furthermore invited to approve new work proposals from CCFICS27 as listed in Part 2 of this document and compiled in Annex I, Annex II Annex III and Annex IV. The Commission is invited to consider these proposals in the light of its Codex Strategic Plan 2020-2025 and the Criteria for the establishment of work priorities and Criteria for the establishment of subsidiary bodies of the Codex Alimentarius Commission.
- The critical review of these texts will be conducted by the 87th Session of the Executive Committee of the Codex Alimentarius Commission (CCEXEC87).

Part 1 – Standards and related texts submitted for adoption at Step 5		
Standards and related texts	Reference	Job No.
Draft guidelines on the prevention and control of food fraud	REP24/FICS, Paragraph 61, Appendix II	N06-2021
Part 2 – Proposals to undertake new work or revise a standard		
Text	Reference and project document	
New work on developing guidance on appeals mechanism in the context of rejection of imported food	<ul style="list-style-type: none"> REP24/FICS, Paragraph 86, Appendix III Annex I of this document 	
New work on developing guidance on the standardization of the representation of sanitary requirements	<ul style="list-style-type: none"> REP24/FICS, Paragraph 91, Appendix IV Annex II of this document 	
New work on revision to the Principles and guidelines for the exchange of information between importing and exporting countries to support the trade in food (CXG 2016)	<ul style="list-style-type: none"> REP24/FICS, Paragraph 100, Appendix V Annex III of this document 	
New work on the development of principles for the digitalisation of National Food Control Systems (NFCSS)	<ul style="list-style-type: none"> REP24/FICS, Paragraph 103, Appendix VI Annex IV of this document 	

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/en/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-701-47%252FWorking%2BDocuments%252Fcac47_11e.pdf

© 2025 BSI. All rights reserved.

20

2024年1月時点

- 現状確認された「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」についての主な重要ポイント（2024年1月時点）
- 地理的表示保護制度（GI）を含む知的財産の扱いについて
 - 「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」について、地理的表示保護制度（GI）を含む知的財産に関する記載をコーデックス及びCCFICSの所掌範囲とすべきか否か、各国認識の違いから意見が分かれ、議論の余地があることが明らかになった。これについてはCAC執行部に助言を求めるとともに電子作業部会（EWG）で継続検討となった。
 - この背景にはGIの保護を拡充したい国々（EU）と、これに反対し従来通りWTOの「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定（TRIPS）」の範囲とすべきとする国々（米国）の対立構造がある。
 - 我が国はGIに関する議論はコーデックスの所掌範囲外の立場（これまで通りTRIPS等で議論すべきとの立場）。
 - 仮にGIが当ガイドラインの対象となった場合にも、直ちに日本に影響はないと思われるが、日本の制度や食品貿易に影響を及ぼすガイドラインとならないよう、引き続き注視する必要がある。
- 食品偽装の議論の進め方、対象範囲について
 - 食品偽装はCCFICSだけでなく部門横断的で広範な課題であるが、議論の進め方について、まずはCCFICSで消費者の健康保護と食品の輸出入における公正な取引の保証に必要な範囲を対象として検討し、検討状況を関連他部門（CCFLやCCMAS等）に情報共有する、ということが確認された（CCGP31でも確認）。
 - 「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」の今後
 - ガイドライン原案をステップ2/3に戻し、CCFICS26で提出された全ての議論とコメント（角括弧内の文章を含む）を考慮し、次回CCFICS27会合（2024年9月16日～20日開催予定）までに改訂草案を作成することになった。
 - 改訂版の作成は電子作業部会（EWG議長国：米国、共同議長国：英国、中国、EU、イラン）が作業を進める。

出所） 第107回コーデックス連絡協議会：農林水産省（maff.go.jp）、第107回コーデックス連絡協議会の概要について（caa.go.jp）_105-4.pdf (maff.go.jp)



© 2025 BSI. All rights reserved.

21

2024年1月時点 第46回コーデックス委員会報告書 CAC46 Report of CCFICS26

- 第46回コーデックス委員会（CAC46）が2023年11月27日～12月2日に開催され、そこで第26回 食品輸入管理・認証制度部会（CCFICS26）の提案についての採択と承認がなされた。



食品偽装の防止と管理に関するガイドライン草案の提出 ステップ2/3

SUMMARY AND STATUS OF WORK						
Responsible Party	Purpose	Text/Topic	Code	Step	Para(s)	
Members CCEEXEC84 CAC46	Adoption	Proposed draft guidelines on recognition and maintenance of equivalence of National Food Control Systems (NFCs)	N25-2017	5/8	44 and App. II	
Members CCEEXEC84 CAC46	Adoption	Proposed draft principles and guidelines on the use of remote audit and inspection in regulatory frameworks	N07-2022	5/8	104 and App. III	
CAC/CCFICS Chair CCFICS	Advice and guidance	Write to the CAC Chairperson (CCEEXEC Chairperson) to seek advice on geographical Indication (GI) and the mandate of CCFICS	**	-	71	
CCEEXEC84 CAC46	Approval	Project document for the on review and update of the "Principles for Traceability/Product tracing as a tool within a food inspection and certification system (CIG 60-2006)"	1/2/3	117 (a) and App. IV		
EWGs CCFICS27 and Member(s)	Drafting, Discussion, and/or comment	Proposed draft consolidation Codex Guidelines related to equivalence Proposed Draft guidance on the prevention and control of food fraud	2/3 and 4	68 and App. V	93 (b)	
United Kingdom CCFICS27	Comments Drafting Discussion	Review and update, Appendix A - the list of emerging global issues	2/3	117 (b)	120	
India and Nigeria CCFICS27	Drafting Discussion	Preparation of a discussion paper and project document on guidance on appeals mechanism in the context of rejection of imported food		125		
Brazil, Australia, New Zealand, Spain and USA	Drafting Discussion	Preparation of a discussion paper and project document on the standardization of sanitary requirements		128		

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/pt/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-26%252FFinal%252520Report%252FREP23_FICSe.pdf



© 2025 BSI. All rights reserved.

22

2024年1月時点 第46回コーデックス委員会報告書 CAC46 Report of CCFICS26

REP23/FICS

TABLE OF CONTENTS

	Page
SUMMARY AND STATUS OF WORK	i
LIST OF ABBREVIATIONS	iii
REPORT OF THE 26 TH SESSION OF THE CODEX COMMITTEE ON FOOD IMPORT AND EXPORT INSPECTION AND CERTIFICATION SYSTEMS	1
	Paragraph
Introduction	1
Opening of the Session	2 - 5
Adoption of the Agenda (Agenda item 1)	6
Matters referred to CCFICS26 by the Codex Alimentarius Commission and its subsidiary bodies (Agenda item 2)	7
Information on activities of FAO and WHO and other International organisations relevant to the work of CCFICS (Agenda item 3)	8 - 10
Proposed draft guidelines on recognition and maintenance of equivalence of National Food Control Systems (NFCs) (Agenda item 4)	11 - 44
Proposed draft Consolidated Codex guidelines related to equivalence (Agenda item 5)	45 - 68
Proposed draft Guidelines on Prevention and Control of food fraud (Agenda item 6)	69 - 93
Proposed draft Principles and Guidelines on the use of remote audit and verification in regulatory frameworks (Agenda item 7)	94 - 104
Discussion paper on review and update of the "Principles for Traceability/Product tracing as a tool within a food inspection and certification system" (Agenda item 8)	105 - 117
Review and update of Appendix A - the list of emerging global issues (Agenda item 9)	118 - 120
• Discussion paper on development of guidance on appeals mechanism in the context of rejection of imported food	121 - 125
• Discussion paper on the standardization of sanitary requirements	126 - 128
Other business (Agenda item 10)	129 - 116
Date and place of the next session (Agenda item 11)	130

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/pt/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-26%252FFinal%252520Report%252FREP23_FICSe.pdf



© 2025 BSI. All rights reserved.

23

2024年1月時点 第46回コーデックス委員会報告書 CAC46 Report of CCFICS26

- 報告書内「食品偽装の防止と管理に関するガイドライン」に関する記載箇所、パラグラフ69-93。

REP23/FICS	10
PROPOSED DRAFT GUIDELINES ON PREVENTION AND CONTROL OF FOOD FRAUD (Agenda item 6)	
88. The United States of America as Chair of the EWG introduced this item. The CCFICS Chairperson opened the discussion on the proposed draft guidelines and invited the members to the consideration of geographical indications (GI) in the scope of the guidelines.	
89. Different views were raised by Members on the question, including: a. GI are not the concern of Codex and CCFICS as it is an issue related to food and food quality requirements, and therefore falls under food practices in food trade. b. GI are outside the mandate of Codex and CCFICS because they are related to aspects of intellectual property rights and therefore falls under the mandate of WIPO. GI are not accepted on a global basis.	
90. The CCFICS Chairperson advised that she would write to the CAC Chairperson/CCENIC Chairperson to seek advice about the extent to which GI could be considered within the mandate of CCFICS and what should be done to address GI in the context of food fraud. The CCFICS Chairperson also advised that the proposed draft guidelines in the EWG and to remain all test remain in square brackets for consideration by the EWG.	
91. CCFICS proceeded to consider the proposed draft guidelines section by section, made editorial corrections and made changes to the proposed draft guidelines on respective sections. SECTION 1: PREAMBLE/INTRODUCTION Paragraph 2: 92. It was proposed to replace "good manufacturing practices" with "good hygienic practices", or whether to mention "good manufacturing practices" instead "good hygienic practices". It was agreed to keep "good hygienic practices" and it was therefore agreed to keep the text unchanged.	
Paragraph 3: 93. It was proposed to replace "good manufacturing practices" with "good hygienic practices", or whether to mention "good manufacturing practices" instead "good hygienic practices". It was agreed to keep "good hygienic practices" and it was therefore agreed to keep the text unchanged.	
Paragraph 4: 94. It was decided to retain the reference to the list of existing Codex documents addressing food fraud (contained in Annex 1) as it was important that they be included, as is done in other Codex documents.	
95. The Chair of the EWG explained that in the EWG the majority view had been in favour of deleting Annex 1.	
96. It was agreed to delete paragraph 7 relating the reference to Annex 1, as it was deemed unnecessary in the context of the proposed draft guidelines. It was also agreed that the inclusion of reference to Annex 1 should be further discussed in the EWG.	
Paragraph 5: 97. It was decided to delete the reference to Annex 2 and the annex itself as the list of international organizations working in food fraud was not exhaustive, and it was sufficient to maintain a general reference to Annex 2 to describe the work of other organizations.	
SECTION 2: CONCEPTS/DEFINITIONS Paragraph 6: 98. It was decided to replace "food safety authorities" with "competent authorities" as food fraud is not necessarily related to food safety and the more generic term would take into account the situation in countries.	
99. Some Member delegations agreed that the proposed draft guidelines on food business operators (FBOs). As section 6 (roles and responsibilities) included a paragraph on FBOs, it was considered appropriate to mention FBOs.	
100. Some Members stated that feed for food-producing animals was outside the scope of these guidelines and required water consultation and also with WHO, whereas others thought that it should be kept, as there could be a risk for human health. It was decided to confine the discussion on this issue in the EWG.	
Footnote: * CCFICS: JAPAN, DIFCIS: 23/04/ Act 1, CDS (Algeria, Burkina, El Salvador, Ghana, Sen, Mauritius, Morocco, Republic of Korea, Thailand and Uganda); CRI/4 (Ecuador, CRI/1 (Niger), CRI/2 (Panama), CRI/2 (Surge), CRI/2 (Bolivia), CRI/2 (United Kingdom))	

https://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/sh-proxy/pt/?lnk=1&url=https%253A%252F%252Fworkspace.fao.org%252Fsites%252Fcodex%252FMeetings%252FCX-733-26%252FFinal%252520Report%252FREP23_FICSe.pdf

REP23/FICS	11
81. Paragraph 3: An and An An	
82. It was considered that the production of food fraud would be handled by countries under their respective national laws and regulations, and not by the EWG. Consequently, paragraph 3 (as it was amended to reflect this, but remained in square brackets for further discussion in the EWG).	
83. It was also noted that this paragraph as already covered in sections 1 and 4, but the matter was referred to the CAC for further consideration.	
SECTION 1: PREAMBLE/INTRODUCTION	
84. Food integrity: It was proposed to delete this definition as it was considered too broad and not specific to food fraud alone. However, after consideration the definition was kept, as it was referenced in the guidelines several times.	
85. It was further proposed to add "commercial and regulatory seals" and "complaints" to the characteristics in the definition of food fraud. It was agreed that the term "commercial and regulatory seals" was kept, as it included relevant information, whereas the term "complaints" was not relevant to food fraud and should thus not be part of the definition.	
86. Food safety: It was proposed to delete this definition, however, after consideration, it was kept, as it included relevant information.	
87. Food fraud vulnerability: And food fraud vulnerability assessment: It was proposed to delete these definitions as the terms are not used in the guidelines. After consideration, both definitions were kept.	
88. The character of the types of food fraud was simplified and it was clarified that the list was not exhaustive.	
89. Substitution: It was suggested that the references to values should be deleted, as food can happen with ingredients with different characteristics but not necessarily higher or lower values. Product substitution in food fraud was also discussed.	
90. The reference to water as an example was deleted as dilution can also occur with other substances.	
SECTION 2: CONCEPTS/DEFINITIONS	
91. To avoid a duplication with other Codex texts, it was proposed to consolidate principles 1, 2 and 3 in one principle, however, it was decided to continue discussion on the proposed text in the EWG, in particular, on the level of principles.	
92. The roles and responsibilities of competent authorities (other than government) to reflect risk, and the circumstances in their territories or associated with imports.	
93. It was agreed that the EWG would review this section and ensure consistency with the Principles and Guidelines for Food Control Systems (CFS) (2013/2014), paragraph 13.	
94. There was no additional time left to review the review of the document.	
SECTION 3: ROLES AND RESPONSIBILITIES	
95. The proposed draft guidelines on the prevention and control of food fraud in Step 2 for redacting:	
a. Return the proposed draft guidelines on the prevention and control of food fraud to Step 2 for redacting;	
b. Establish an EWG open to all Members and Observers, chaired by the United States of America and co-chaired by the United Kingdom, the People's Republic of China, the European Union, and the Islamic Republic of Iran.	
c. To propose revised draft guidelines on the prevention and control of food fraud, taking into account all relevant information (including the comments (including in square brackets) submitted at CCFICS26, for consideration at CCFICS27).	
d. To submit the report of the EWG at least three months in advance of the next session.	
e. To open the option to hold a physical working group session immediately prior to the next CCFICS session under a related international meeting, to discuss any outstanding issues.	

© 2025 BSI. All rights reserved.

24

2024年1月時点 第107回コーデックス連絡協議会における、第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS）に関する記載

第107回コーデックス連絡協議会（2023年9月8日開催）において、第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS26、2023年5月1日～5日開催）について確認された。「食品偽装の防止と管理に関するガイドライン」に関する記載を以下抜粋。

食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS）の今後の作業

事項	今後のアクション
国連食糧農業機関の同様性の実証及び議論に賛成するガイドライン	CAC規 (ステップ5/8)
規則の範囲内における委員会及び委員会に賛成する定期及びガイドラインの選定	CAC規 (ステップ5/8)
食品安全・認証制度におけるワールドトレーディングアリーナ（WT）規範（トレーディングの規範）(COC-00-2000)の更新及び改訂に関する討議文書	ステップ1 COC規 (規則作業の確認)
規則の範囲内における委員会及び委員会に賛成する定期及びガイドラインの選定	ステップ2/3 電子的作業部会（議長国：米国、共同議長国：米国、オーストラリア、エクアドル及びシナジマス）
規則の範囲内に係るガイドラインの統合立案	ステップ2/4 電子的作業部会（議長国：ニュージーランド、共同議長国：米国、中国及びイラン）
CCFICS議長がCCFICSの所事範囲に含まれるか否かの確認	CCFICS議長は CAC及び執行委員会の議長に CAC及びCCFICSの所事範囲に含まれるか否かの確認

セクション1：食品偽装の防止と管理に関するガイドライン原案

セクション2：食品偽装の防止と管理に関するガイドライン草案

セクション3：食品偽装のリスク評価

セクション4：食品偽装の対応

セクション5：規則

セクション6：結論

<https://www.maff.go.jp/j/syounan/kijun/codex/attach/pdf/107-1.pdf>

© 2025 BSI. All rights reserved.

25

2024年1月追加分 第107回コーデックス連絡協議会における、第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS）に関する記載

（つづき）第107回コーデックス連絡協議会（2023年9月8日開催）において、第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS26、2023年5月1日～5日開催）について確認された。「食品偽装の防止と管理に関するガイドライン」に関する記載を以下抜粋。

セクション2：目的／範囲

- 食品偽装に応じる機関については国の体制によって必ずしも「food safety authorities」（食品安全担当機関）とは限らないため、「competent authority（当局）」に修正した。
- このガイドラインは食品事業者（FBO）を対象にしているが議論したが、セクション6（役割及び責任）にFBOに関するパラが含まれているので、ここでFBOについて記述するのは適切であると考えられた。
- 本ガイドラインの対象に「feed for food producing animals（食用動物のための飼料）」を含むか否か異なる意見があつたが、引き続き議論することとなった。
- パラ9bis及びbisについても、他のセクションとの重複などで、削除提案があつたが、電子的作業部会においてその削除意見も含め、引き続き議論することとなった。

セクション3：定義

「Food fraud vulnerability」及び「Food fraud vulnerability assessment」は本ガイドラインの中で使用されていないことから、削除することに合意された。その他の定義は削除提案等もあつたが、維持することに賛同多数だったため、軽微な修正を行った上で、維持することとなった。

セクション4：食品偽装の種類

- リストはこれに限定されるものではなく、例示であることを明確化した。
- 「Substitution（置き換え）」については、異なる性質の原料などでも起こ

<https://www.maff.go.jp/j/syounan/kijun/codex/attach/pdf/107-1.pdf>

© 2025 BSI. All rights reserved.

26

2024年1月時点 第107回コーデックス連絡協議会 における、第26回食品輸出入検査・認証制度 部会 (CCFICS) に関する記載

- 第107回コーデックス連絡協議会（2023年9月8日開催）で、第26回食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS）で示された「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」に関して確認と議論がなされた。以下、該当箇所の文章抜粋。

- ・議題 6「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン原案」について、菅沼修 委員、森田満樹委員、山口隆司委員から、地理的表示保護制度(GI)を含む知的財産に関する記載に関して、日本は本ガイドライン原案の所掌範囲外であるとのコメントを提出しているが、その理由について質問がありました。これについて、GI に関する議論はコーデックスの所掌範囲外であり、本ガイダンスの目的には馴染まないと考えていること、仮に GI がもしこのガイドラインの対象となった場合にも、直ちに日本に影響は出ないと考えているが、日本の制度や食品貿易に影響を及ぼすガイドラインとならないよう、引き続き対応していきたい旨回答しました。

・同じく議題 6 について、菅沼修委員から、GI に関する議論に関して、本ガイドラインの所掌範囲内とすべきというEUと、所掌範囲外とすべきという米国で対立構造になっているのか、また、この議論については今後も電子的作業部会(EWG)において継続されるようだが、打開策はあるのか、質問がありました。これについて、GI については WTO の「知的所有権の貿易関連の侧面に関する協定(TRIPS)」など、他の会議体での議論においても、GI の保護を拡充しようとする国々とそれに反対する国々との間で対立構造がでており、本ガイドラインの議論でも同様の構造が見られていること、我が国としては GI についてはコーデックスではなく、これまで通り TRIPS 等で議論すべきであると考えている旨回答しました。

・同じく議題 6 について、森田満樹委員から、食品の偽装に関しては、様々な部会でバラバラに議論されている印象があるが、CCFICS のガイドラインは、今後こうした問題を包括する形で所掌していくのか、質問がありました。これについて、食品偽装については部会横断的な課題であるため、他部会からの付託事項として CCGP31 において検討の必要性について議論されたが、その際には CCGP では議論せず、まずは CCFICS において食品の輸出入における食品偽装の防止及び管理について議論することになったこと、CCFICS の今後の検討の状況については、CCFL や CCMAS 等関連する部会に対して情報共有をすることになっている旨回答しました。

出所) 第107回コーデックス連絡協議会: 農林水産省(maff.go.jp)、第107回コーデックス連絡協議会の概要について(caa.go.jp)



© 2025 BSI. All rights reserved.

37

2024年1月時点 第107回コーデックス連絡協議会 における、第26回食品輸出入検査・認証制度 部会 (CCFICS) に関する記載

(つづき) 第107回コーデックス連絡協議会(2023年9月8日開催)で、第26回食品輸出入検査・認証制度部会(CCFICS)で示された「食品偽装の防止及び管理に関するガイドライン」に関して確認と議論がなされた。以下、報告書の該当箇所。



出所) 第107回コーデックス連絡協議会: 農林水産省 (maff.go.jp)、第107回コーデックス連絡協議会の概要について (caa.go.jp)



© 2025 BSI. All rights reserved.

PAS96改訂についての調査 (2025年1月までの進捗)



bsi

PAS96(第5版)改訂作業進捗状況

PAS96(第5版)の改訂作業は、2023年11月より開始されましたが、テクニカルオーサーとの契約が遅れているため予定を大幅に遅れ、未だパブリックコンサルテーションが開かれていない状況です

2023年11月 新版(第5版)作業開始

PAS 96の草案を最終化し、パブリックコンサルテーションを実施

最初のドラフト テクニカルオーサーにより作成

2024年4-5月 運営グループとの会議実施

プロジェクトスポンサーが要求した追加作業をカバーする
新しい契約をテクニカル・オーサーと締結

パブリックコンサルテーションのための新たな草案作成



現在ここで停滞中(2025年1月3日現在)
今後準備が益次第、パブリックコンサルテーションのスケジュールを案内予定。

bsi

© 2025 BSI. All rights reserved.

30

参考資料 2

PAS 96 - Brief update on progress



Kevin Laverty
宛先 Kevin Laverty

青の分類

Public~~¥~~Public - Unmarked

① フラグを設定します:
このメッセージは 2025/01/06 11:33 に転送されました。

2025/01/03 (金) 20:48

Dear PAS 96 Review Panel member,

Thank you for your patience while we have been finalising a draft PAS 96 for public consultation. We still intend to give you an opportunity to review and comment on the draft.

BSI will be in touch soon to confirm the new timescales, including the timing of the public consultation. I look forward to seeing your comments.

Kind regards,

Kevin.

Kevin Laverty

(Pronouns: he, him, his)

Editorial Project Manager

M +00 07532 402192

Kevin.Laverty@bsigroup.com

BSI, 389 Chiswick High Road, London, W4 4AL, UK

bsigroup.com | [LinkedIn](https://www.linkedin.com/in/kevin-laverty/) | [X](https://twitter.com/kevin_laverty)

RE: Request for Update on the PAS 96 Public Consultation Process



Kevin Laverty
宛先 Kenichi Hojo (北條 健一) ; Todd Redwood ; Titi Susanti
C C Gary Wills ; Takashi Naito (内藤 高志) ; Kosuke Kawai (河井 宏介) ;
 Shigeto Iocco (一occo 茂人) ; Neil Coole

2024/11/21 (木) 17:26

青の分類

Public~~¥~~Public - Unmarked

① フラグを設定します:
フラグ処理などが設定されたスレッドに含まれているメッセージです。関連するすべてのメッセージを検索したり、元のフラグ付きメッセージを開くには、ここをクリックしてください。

Dear Kenichi,

Thank you for your query about PAS 96.

I am afraid we are still in the process of contracting the Technical Author to complete the drafting work. When the Author is contracted, he will make changes to the draft in response to comments from the initial Steering Group review held earlier this year. At that point, I will prepare a new schedule and share this with you and your team.

When the Author has updated the draft, I will obtain the Steering Group's approval to release this for public consultation. I will then arrange for the draft to be uploaded to BSI's Standard Development Portal and advise you and your team of this.

I am sorry I cannot give you any firm timescales just now; the contracting has taken much longer than anticipated and I am not yet sure when it will be completed.

Please let me know if you need any further information.

Kind regards,

Kevin.

Kevin Laverty

(Pronouns: he, him, his)

Editorial Project Manager

M +00 07532 402192

Kevin.Laverty@bsigroup.com

BSI, 389 Chiswick High Road, London, W4 4AL, UK

bsigroup.com | [LinkedIn](https://www.linkedin.com/in/kevin-laverty/) | [X](https://twitter.com/kevin_laverty)

From: Kevin Laverty <Kevin.Laverty@bsigroup.com>
Sent: Wednesday, September 11, 2024 5:09 PM
To: Kenichi Hojo (北條 健一) <Kenichi.Hojo@bsigroup.com>; Todd Redwood <Todd.Redwood@bsigroup.com>; Titi Susanti <Titi.Susanti@bsigroup.com>
Cc: Gary Wills <Gary.Wills@bsigroup.com>; Takashi Naito (内藤 高志) <Takashi.Naito@bsigroup.com>; Kosuke Kawai (河井 宏介) <Kosuke.Kawai@bsigroup.com>; Shigeto Icho (一蝶 茂人) <Shigeto.Icho@bsigroup.com>; Neil Coole <Neil.Coole@bsigroup.com>
Subject: RE: Request for Update on the PAS 96 Public Consultation Process

Dear Kenichi,

Neil recently took on a new role and has asked me to respond to your query about the PAS 96 development process.

Work on the new (Fifth) edition began in November last year. A first draft was prepared by the Technical Author and shared with the Steering Group for review. Meetings were then held with the Steering Group (in April and May) to resolve the comments. The next step will be for these resolutions to be used to prepare a new draft for public consultation. Before that happens, though, we are arranging a new contract with the Technical Author to cover additional work requested by the Project Sponsor.

When we have completed the contracting of the TA, he will be able to complete the additional work and the resulting draft (once edited by me) can be shared with the Steering Group before it is released for public consultation. I will also prepare a new schedule for the project, including the public consultation. I expect the contracting to be completed within the next few weeks.

I hope this helps, but please let me know if you need any further information.

Kind regards,

Kevin.

Kevin Laverty

(Pronouns: he, him, his)
Editorial Project Manager
M +00 07532 402192
Kevin.Laverty@bsigroup.com

BSI, 389 Chiswick High Road, London, W4 4AL, UK

RE: Request for Update on the PAS 96 Public Consultation Process

 Kevin Laverty
宛先 ○ Kenichi Hojo (北條 健一) ; ○ Todd Redwood; ○ Titi Susanti
C.C. ○ Gary Wills; ○ Takashi Naito (内藤 高志) ; ○ Kosuke Kawai (河井 宏介) ; ● Shigeto Icho (一蝶 茂人) ; ○ Neil Coole

2024/09/16 (月) 18:02

○ Public\Public - Unmarked

① フラグを設定します:
2024/09/17 10:26 にこのメッセージに返信しました。
フラグ処理などが設定されたスレッドに含まれているメッセージです。関連するすべてのメッセージを検索したり、元のフラグ付きメッセージを開くには、ここをクリックしてください。

 メッセージを日本語に翻訳する | 翻訳に関する設定

Dear Kenichi

The draft for public comment will be uploaded to BSI's Standards Development Portal for public consultation: <https://standardsdevelopment.bsigroup.com/>.

However, I have added you and our colleagues to the list of stakeholders so that you will receive a notification when the draft becomes available for public consultation. This will include a link to the draft on the Portal.

The main changes introduced as part of this new edition are to:

- recognize current UK Government guidance on the increasing threat of cyber attack;
- address the emerging threat picture following the Covid-19 pandemic and significant changes to global trade in food;
- recognize the potential impact of climate change on threats to food and food supply; and
- anticipate the effect of food sector developments given policies such as "go-green", "carbon neutral", "net-zero" and food waste reduction.

Kind regards,

Kevin.

Kevin Laverty

(Pronouns: he, him, his)
Editorial Project Manager
M +00 07532 402192
Kevin.Laverty@bsigroup.com